

喜多方市 農業委員会だより

第4号

平成27年3月

編集発行

喜多方市

農業委員会

☎ 0241 (24) 5255



次代を担う子供たち

駒形小学校では、はぜ掛けによる自然乾燥での米作りの授業を行っています。

皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

難問題が山積している折、農業委員会として、行政・農業団体と協力しながら、本市農業の進展に努力して参りたいと考えております。

このように厳しい農業情勢、

昨年、長野県北部地震、御嶽山の爆発、大型台風の多発や豪雨による土砂災害など全国各地に大きな被害をもたらしました。また、今冬は大寒波が何度も押し寄せ、北海道を中心に東北・北陸の日本海側に大雪を降らせ、苦勞と不便さを強いられております。

一月の改選により、再任委員16名・新人委員14名合計30名体制による新たな農業委員で活動することになりました。不肖私が2期目の会長職を仰せつかり、大変な責任の重さを痛感しております。



会長
原 源一
(熱塩加納町)



風評対策の強化を 市長に建議6項目を提出

農業委員会は、平成26年11月28日市長公室において平成27年度農業施策に関する建議を市長に対し提出しました。建議内容は以下のとおり。

- ① TPP交渉に関すること
- ② 農業委員会の制度の堅持に関すること
- ③ 女性農業委員登用への環境整備について
- ④ 米及び農畜産物価格下落に対する農業振興強化策について
- ⑤ 国・県道、一般河川等の適正な維持管理について
- ⑥ 風評被害対策の更なる強化について



山口市長に提出する原会長

地区だより



抱負を語る大田さんと齋藤委員

山都町の太田洋成(30歳)さんは、平成22年秋に東京都大田区より同町藤沢地区に移り住み、地元農家で研修を重ね野菜作りの勉強を始めた。25年からは同町相川地区で無農薬野菜を栽培し、JA直売所「まんまじや」に僅かながら出荷も始め、26年からは遊休農地を借り受け、以前

伝統野菜の発掘に取り組み 山都町

より興味があった会津伝統野菜を絶やさぬようにと努力している。また、発掘、保存に向けた取り組みとして映画「よみがえりのレシピ」を上映し、試食会を開きながら会津の伝統野菜についての意見交換会を行っている。(齋藤澄子委員)

共同作業で中山間農地をまもる 高郷町

高郷町夏井地区に平成20年から中山間地域等直接支払制度で、夏峯集落協定の事業に取組み、農業機械の共同購入している三つの組織があります。

その中の一つ夏井農機具利用組合(代表高久修二)は加入者7名・平均年齢70歳・耕作面積10㌥で、個人



共同で行う田植え作業

所有農地70㌥から2㌥と差はありますが、中山間地の水田を守るために、水稻ハウス共同育苗・田植機1台・コンバイン2台で共同作業を行い農業機械の経費の軽減に努めている。今後ますます作業受託は増加すると考えられるが、高齢化は何処も同様であり担い手の育成に努めていかなければならない。(田代守弘委員)



県農業会議主催により、平成26年11月6日福島市パルセイロいざかにおいて、第59回福島県下農業委員大会が開催された。県農業会議太田豊秋会長より挨拶がされた後、3つの議案が審議され、その中で本市の五十嵐信幸会長職務代理者が、農業委員会組織改革についての質問をする等活発な議案

本県農業再生の加速化決議

第59回県下農業委員大会開催

- 審議がされた。内容は以下のとおり。
- 1、本県農業再生の加速化と来年度における農業政策の推進について
 - 2、地域農業の実情に即した農業委員会組織改革の実現について
 - 3、地域農業振興に応える農業委員会活動に関する申し合わせ決議



京野 貞夫
松山町



添川 和雄
慶徳町



佐原 裕司
豊川町



湯上 重幸
豊川町



豊子 光喜
旧喜多方



穴澤 富志雄
関柴町



齋藤 誠一
熊倉町



酒井 健一
熊倉町



職務代理者
五十嵐 信幸
岩月町



岩渕 善一郎
岩月町



蓮沼 喜代志
上三宮町



大津 康男
塩川町



大堀 美栄子
塩川町



大堀 正行
塩川町



山口 雄一
熱塩加納町



木戸 賢治
熱塩加納町



穴澤 一彦
関柴町



齋藤 澄子
山都町



長谷川 角男
山都町



長谷川 庄次
山都町



江花 裕一
塩川町



物江 洋一
塩川町



芳賀 正武
塩川町



岩橋 公正
山都町(土改)



小熊 研一
塩川町(共済)



佐藤 常良
上三宮町(農協)



田代 守弘
高郷町



清野 健治
高郷町



佐藤 健一
高郷町

私たちが農地・農政の相談を受けます。

未来の自分へ贈り物♪ 農業者年金

農業者年金「現況届」の提出を お忘れなく提出しましょう。

5月下旬に農業者年金基金から現況届の案内が郵送されます。

現況届は、受給資格を確認するため毎年6月中に農業委員会まで提出しなければなりません。提出がされないときは、11月以降の年金が差し止めることとなりますので、忘れずに提出しましょう。



放射性物質の現状を学ぶ

会津若松地方農業委員会連合会が行う研修会に参加し、岩手県環境研究センターの佐々木陽氏による、現在の放射性物質の状況や今後の農業生産の課題などを学びました。



農地の貸借・売買、農地の転用など手続きはお早めに!!

☆農地を農地として貸借または売買する場合
農地法第3条の許可が必要です。

○申請書1部提出

☆農地を農地以外の用途（宅地、駐車場、資材置場など）に転用する場合
農地法第4条（自己所有の農地を転用）、農地法第5条（他人名義の農地を貸借・売買により転用）の許可が必要です。

○申請書2部提出

☆申請書締め切り
毎月末日

※当該日が土・日または祝日等の場合には、その翌日

☆農業委員会総会
毎月20日頃

※農地を取得する農業者または農地を転用する事業者・内容・場所などにより作成書類が異なる場合があります。事前に相談されますようお願いいたします。

農地法Q & A

Q：仮登記とはどういうことでしょうか。

A：仮登記とは、本登記の申請に必要な手続上の条件が整わないときなど、将来なされる本登記の順位を保全するためにあらかじめしておく登記のことです。仮登記自体には、第三者に対して権利を主張する対抗力はありません。

しかし、仮登記に基づき本登記がなされたときは、本登記の順位は仮登記のなされたときになりますから、仮登記の後になされた他の登記より順位が優先します。



平成27年 賃借料情報のお知らせ

農地賃借料情報は農地法第52条に基づき、農地の農業上の増進及び利用関係の調整に資するため、農地の保有及び利用の状況、借賃の動向等農地に関する情報の提供を行うものです。

賃借料の金額は、過去1年間の地域ごとの平均額により算出しておりますが、賃借料の設定は、各農地の状況及び特殊事情等勘案の上、貸し手・借り手双方十分に話し合い設定するようお願いいたします。詳しくは、4月の市広報又は市ホームページに掲載されております。

農業の
ことなら

全国農業
新聞

「全国農業新聞」

農業情勢・地域の話題が満載です。

【購読料が増額改定となります】

4月からの購読料が100円増額され、
1ヶ月700円となります。

編集後記

喜多方市農業委員会だより第3号が、県農業委員会情報誌コンクールで優秀賞に選ばれました。第4号から編集委員メンバーが新たになり、地域の話題や農業委員会の役割など年2回お届けします。

委員長 齋藤 誠一
副委員長 木戸 賢治
委員 豊子 光喜
委員 大堀 美栄子
委員 長谷川 庄次
委員 佐藤 健一
委員 原 源一